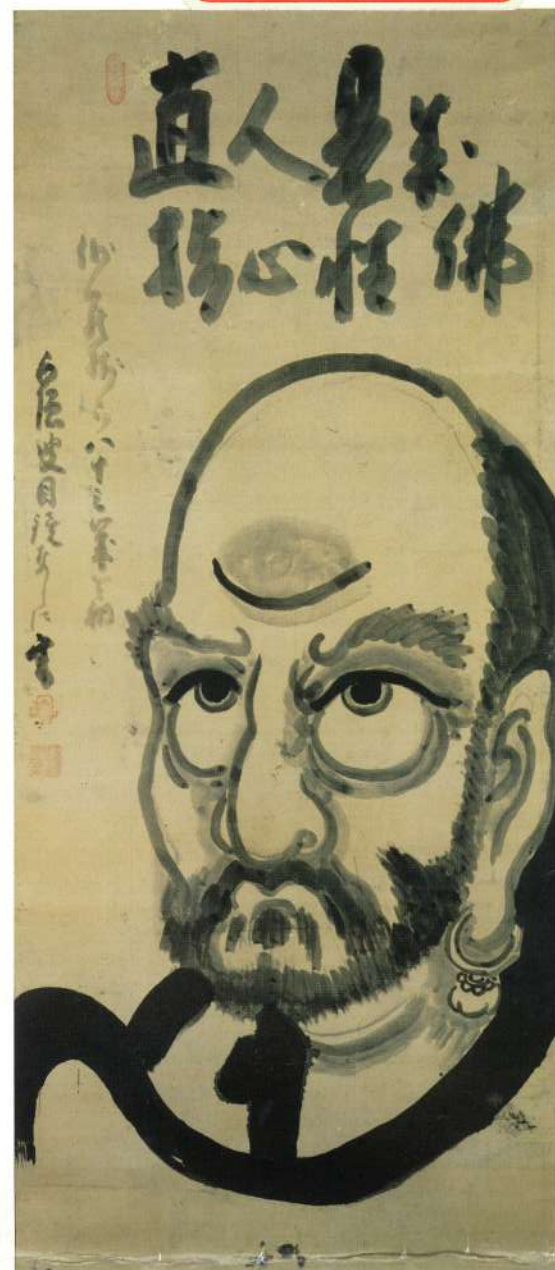


永青文庫版

白隠の 禅画・名筆

【監修】
細川 護熙
もりひろ
(永青文庫理事長)

本当の人生とは何か—
心ゆさぶる
名僧からのメッセージ



ただならぬ迫力、えもいわれぬ佇まい—— これぞ最高峰の白隠コレクション。 名僧の気迫と菩薩心が宿る味わい深い名幅を、しつらいのアクセントに。

白隠の書画には、見る人の気持ちと響き合うダイナミックな生動感があります。込められた意味に向き合えば、人間らしさを思いださせる奥深さも魅力です。

「駿河にはすぎたるものが二つあり、富士のお山と原の白隠」と謳われる江戸中期の禅師、白隠。「臨済宗中興の祖」と称され、庶民にわかりやすく禅宗を伝えるべく、生涯で二千年を越えたとされる膨大な書画を残しています。

斬新な構図、豪放な筆、素朴さと厳しさを併せ持ち、それでいてユーモラスにも映る仏祖像——五百年に一度の名僧といわれた白隠の書画には、禅の教えが描き込まれています。読み解けば、比類のない独自性と強烈な迫力、溢れる慈悲心に圧倒されるでしょう。そして、混乱する現代において、真摯に自己を見つめる大切さにも気づかされることでしょう。

今回は、白隠のコレクションで日本一を誇る、細川家ゆかりの永青文庫から、白隠に精通した理事長・細川護熙氏が名品を厳選。原画に忠実に複製しました。慌ただしい日々のなか、人間らしさを取り戻す心静かなひとときを、見るほどに味わい深い白隠の書画とともに過ごしてください。



オリジナルと照らし合わせ、色校正を行う様子

【白隠禅師 略年譜】

- 一六八五年（貞享二年）
駿州駿東郡浮島原（静岡県沼津市原）にて生まれる。幼名は岩次郎。
- 一六九九年（元禄十二年）
松蔭寺三世単嶺和尚について得度し、慧鶴と名づく。
- 一七〇八年（宝永五年）
越後（新潟県）高田の英巖寺性徹のもとで「趙州無字」の公案によって開悟。その後、信濃（長野県）飯山の正受老人のもとで大悟、嗣法となる。
- 一七一〇年（宝永七年）
京都洛東白河山中に厳居する白幽真人に内観法を学び、内観の秘法を授かる。
- 一七一六年（享保元年）
諸方の遊歴より、松蔭寺に帰郷。三十二歳。
- 一七二八年（享保三年）
妙心寺第一座となり、白隠と号す。三十四歳。
- 一七二六年（享保十一年）
「法華経」の真髓を体得し、大自在を得る。四十二歳。
- 一七六一年（宝暦十一年）
七十七歳のころ、伊豆三島の沢地に龍澤寺を開創。
- 一七六八年（明和五年）
十二月十一日に八十四歳にて入滅。松蔭寺、龍澤寺、無量寺の三処に分骨し塔される。

【監修】

永青文庫理事長
細川護熙

1938年生まれ。細川家18代当主。1963年上智大学法学部卒業。朝日新聞記者、熊本県知事を経て、参議院議員となる。1992年日本新党を結成、翌93年に第79代内閣総理大臣に就任。1998年衆議院議員を辞職後、2005年財団法人永青文庫理事長に就任。著書に『鄙の論理』（共著／光文社）、『不東庵日常』（小学館）ほか多数。

【禅語解説】

（財）禅文化研究所所長
西村恵信

1933年生まれ。花園大学仏教学部卒業後、南禅寺僧堂に掛堂。1960年米国ペンデヒル宗教研究所に留学、1970年京都大学大学院博士課程修了。花園大学学長を経て、現職。著書に『己事究明の思想と方法』（法蔵館）、『無門関』（岩波文庫）ほか多数。三余居と号する。

【作品解説】

早稲田大学會津八一記念博物館客員助教授

浅井京子

1971年東京芸術大学大学院修士課程修了。富岡美術館学芸員を経て、現職。永青文庫評議員。

【監修者の言葉】

現代人が忘れがちな
自己を見つめる大切さを説く

永青文庫には三百余点の白隠作品が収められている。質量共にこれだけのコレクションは他に類がない。これらはすべて、祖父護立が白隠に魅了され、蒐集したものである。祖父は、白隠の書画について、「決してうま



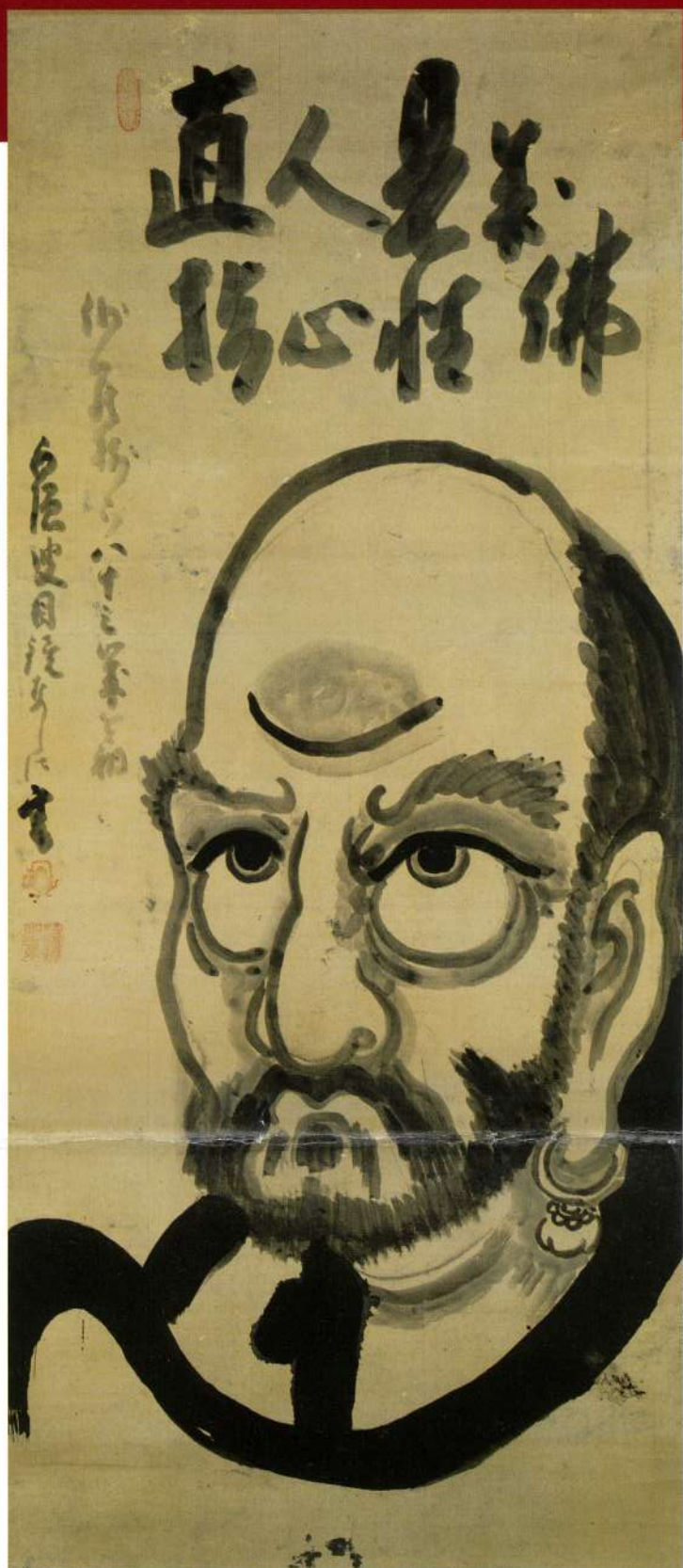
くはないかもしれないが、実にのんびりと描いてあり、深く落ち着いて力があるので、いい知れぬ面白さがある」という。白隠ののびやかな筆さばきは、心を解き放ってくれるような感じがする。大書されたものの迫力は白隠その人の己事究明を見るかの如く、厳しいものを感じさせる。なにもものにとらわれない自由な筆の動きと慈悲溢れる墨の色は、必ずや新しい多くの白隠ファンを生み出すことだろう。

細川護熙

達磨 像

(だるまぞう)

自分と向き合うひととき、達磨^{だるま}大師があなたを見守ります。どつしりとした筆に、作為のない無作の妙用がにじみます。しつらいの主役にふさわしい、圧倒的な存在感です。



直指人心、見性成佛
沙羅樹下、八十三歳老衲、
白隠叟、眼鏡なしに書
己の心を直指し、

その心の本性を徹見し仏となる
沙羅樹下、八十三歳の老衲(年老いた僧侶)、
白隠叟が眼鏡なしに書せり

白隠は禅宗の初祖・達磨大師を数
多く描いています。

「直指人心、見性成佛」とは、すな
わち「自己の本性を見極め、人の心
と仏性が本来一つであると悟り、
道を完成する」という意。ここに達
磨大師の示した禅の本質があります。

自分を省みる眼に
気づかされる――



トに。

白隠の書画には、見る人の気持ちと響き合う
ダイナミックな生動感があります。
込められた意味に向き合えば、人間らしさを

【監修者の言葉】

現代人が忘れがちな

細川護熙

蛤蜊観音像

(はまぐりかんのんぞう)

心をなごます、どこかユーモラスな観音様。
母のような深い慈しみの心が伝わってきます。
くつろぎの間を引き立てる、穏やかなぬくもりを醸す優品です。



はまぐり身得度者
即現はまぐり身而為説法

はまぐり身もて度することを得る者には、
即ち、はまぐり身を現じて、為に法を説く
蛤から現れた観音の説法を聴きに、
魚や貝などになぞらえられた衆生
が集まった図。主題は蛤で、白隠
の現身として描かれています。素
朴で楽しい画の中に、生きとし生
けるものを分け隔てなく救う、仏
道者のあるべき姿が示されています。
白隠の菩薩心が伝わる一幅。

励ましと安心を
与えてくれる――



柏樹子

(はくじゅし)

剛直でいてリズムミカル、自在な筆致はまるでモダンアートのように。心を解き放つかのように、のんびりとした雰囲気かにじみます。見るほどに味わいの増す、飽きのこない一幅で、日々に潤いを。



柏樹子話、有賊機

柏樹子の話に、賊の機有り

(中国の趙州從諗の語録のひとつ。「達磨大師がインドから中国にやってきた真意は何か」と問われ、「庭先の柏の樹」と答えたというもの。)

「柏樹子話」は、禅の真髓を説く参究すべき公案として、普遍的な意味を持って伝えられてきました。気迫のこもった力強い墨蹟が、真実の自己とは何かと問いかけてくるようです。

公案：悟りを得るために参禅者に示される課題

心の目を開くよう
導いてくれる――



白隠コレクションでは名実ともに日本随一を誇る
永青文庫から秘蔵の書画を厳選してお届けいたします。

商品の特色

●永青文庫コレクションから

理事長・細川護熙氏が選んだ傑作

白隠の遺墨では質・量ともに日本一を誇る、細川家ゆかりの永青文庫コレクション。約三百点ある所蔵作品の中から、理事長である細川護熙氏自らが選んだ傑作を完全複製しました。白隠芸術の真髄をご堪能いただける豪華なシリーズです。

●白隠の第二級研究者による解説付

禅語解説は、白隠研究の成果を伝えてきた(財)禅文化研究所の所長・西村恵信氏によるもの。また、作品は、白隠研究の第一線で活躍する早稲田大学會津八一記念博物館助教授・浅井京子氏にわかりやすく解説していただきます。

●白隠が住した松蔭寺の現住職による箱書

白隠が十五歳で出家し、八十四歳で入寂するまで住した、静岡県沼津市原にある松蔭寺。その現住職である鶴林山松蔭寺十八世・宮本圓明師に今回特別に揮毫していただきました。質・内容ともに最高の白隠コレクションをお届けします。



床の間の表情が普段と一変します。



所蔵者認定の証として、永青文庫理事長・細川護熙氏による監修印入り限定印製証明をお付けします。

■価格

各**300,000円**(税込)

■仕様・体裁

掛け軸寸法：天地 187.5cm × 左右 63.1cm

本紙寸法：達磨像 天地 100.0cm × 左右 43.9cm

蛤蜊観音像 天地 100.0cm × 左右 44.2cm

柏樹子 天地 100.0cm × 左右 42.9cm

印刷：デジタル・マイスター・リトグラフ (9色)

紙：特漉鳥の子紙特3号

箱：本格豪華高級桐箱入

証明書：限定印製証明 (細川護熙氏の監修印入り)

解説：禅語解説 西村恵信 ((財)禅文化研究所所長)
作品解説 浅井京子 (早稲田大学會津八一記念博物館客員助教授)

■表具仕様

	達磨像	蛤蜊観音像	柏樹子
一文字	鶯色地一重唐草牡丹金襴	朱ざめ色安楽地小唐草金襴	鶯萌黄色小牡丹朱箔入金襴
中廻し	薄木枯茶色小華遠州	薄憲房色飛華遠州	麴塵色梅華散らし遠州
天地	薄桑染色地綯	薄梅茶色地綯	薄桑染色地綯
軸先	中呂色塗	中呂色塗	中呂色塗

國寶俱樂部®

■国宝俱樂部とは

株式会社同朋舎メディアプランが運営する「国宝俱樂部」は、伝統文化を通じて人生を豊かにする俱樂部です。国宝俱樂部は「日本の智慧と心を伝承し」会員の皆さまに「驚きと喜びと愛用を」約束します。さらに「長期にわたる信頼関係をお客様と築けるよう」活動します。是非<http://kokuhou-club.com/>をご覧ください。

発行元 **株式会社 同朋舎メディアプラン**

●京都本社

〒606-8203 京都市左京区田中関田町2番地7-331

TEL.075-751-2200 FAX.075-751-2203

●東京本社

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-22-18 TK-WESTビル2号館5F

TEL.03-5216-1161 FAX.03-5276-0837

ホームページ

<http://kokuhou-club.com/>